

データ通信

データ通信について	522
データ通信の準備の流れ	524
AT コマンドについて	525

データ通信について、詳細は添付のCD-ROM内の「PDF版「データ通信マニュアル」(データ通信.pdf)」をご覧ください。「PDF版「データ通信マニュアル」(データ通信.pdf)」をご覧になるには、Adobe Reader(バージョン6.0以上を推奨)が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページから最新版をダウンロードできます(別途通信料がかかります)。

詳細はアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

データ通信について

ここでは、データ通信の形態やご利用時の留意点について説明します。

利用できるデータ通信形態

利用できる通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信、データ転送の3つに分類されます。

パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、電話帳などのデータをバックアップしたりするには、添付のCD-ROMからソフトのインストールや各種の設定を行う必要があります。

FOMA端末はFAX通信に対応していません。

ドコモのPDA、museaやsigmarion IIと接続してデータ通信を行う場合は、museaやsigmarion IIをアップデートしてご利用ください。アップデートの方法などの詳細はドコモのホームページをご覧ください。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりするのに適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないので、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。

ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大384kbps、送信最大64kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。

画像を含むホームページの閲覧、データのダウンロードなどデータ量の多い通信を行った場合、通信料が高額になりますのでご注意ください。

64Kデータ通信

64kbpsの安定した通信速度でデータを送受信できます。データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行うのに適しています。ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMA64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64kbpsアクセスポイントを利用します。

データ転送

データを転送・交換する、課金が発生しない通信形態です。データリンクソフトを利用して電話帳や送受信メール、ブックマークなどの各種データを送受信します。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンからインターネットを利用する場合は、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）に対する利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細はご利用のプロバイダにお問い合わせください。

ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaがご利用いただけます。

mopera Uは、お申し込みが必要なサービスです。ご利用には月額使用料がかかります。使用した月だけ月額使用料がかかるプランも利用できます。FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションや国際ローミングなどに対応したmopera Uのご利用をおすすめします。moperaはお申し込み不要です。また、月額使用料はかかりません。今すぐインターネットに接続したい方に便利なサービスです。

接続先（プロバイダなど）について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64kbps対応の接続先をご利用ください。

PIAFSなどのPHS64K/32Kデータ通信やDoPaのアクセスポイントには接続できません。

ネットワークアクセス時のユーザ認証について

接続先によっては、接続時にユーザ認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力して接続してください。IDとパスワードは接続先のプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたは接続先のネットワーク管理者にお問い合わせください。

パソコンのブラウザを利用するアクセス認証について

パソコンのブラウザを利用するアクセス認証でFirstPass（ユーザ証明書）が必要な場合は、添付のCD-ROMからFirstPass PCソフトをインストールし、設定をしてください。詳細は添付のCD-ROM内の「FirstPassManual」をご覧ください。「FirstPassManual」（PDF形式）をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。パソコンにインストールされていない場合は、アドビシステムズ株式会社のホームページからダウンロードできます（別途通信料がかかります）。詳細はアドビシステムズ株式会社のホームページをご覧ください。

FirstPass PCソフトの動作環境

項目	必要環境
パソコン本体	PC/AT 互換機
OS (各日本語版)	Windows 98SE、 Me、2000、XP
必要メモリ	Windows 98SE、 Me、2000 : 32MB 以上 Windows XP : 128MB 以上
ハードディスク容量	10MB 以上の空き容量
ブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5 以上

：パソコンのシステム構成によって異なる場合があります。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。

FOMA USB 接続ケーブル(別売)に対応したパソコンであること

FOMA サービスエリア内であること
パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること

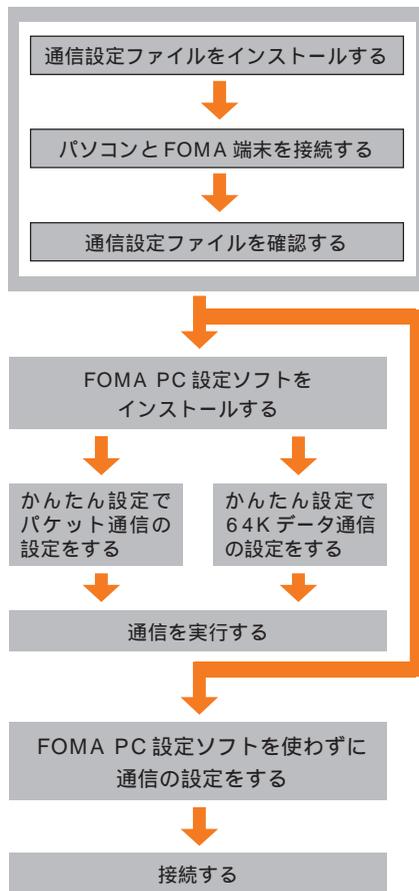
64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64kbpsに対応していること
ただし、上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりする場合は通信できないことがあります。

データ通信の用語集

- APN (Access Point Name)**
 パケット通信で接続するプロバイダや社内 LAN を識別する文字列。たとえば、mopera U は「mopera.net」が APN となります。
- cid (Context Identifier)**
 パケット通信の接続先 (APN) に対応して、FOMA 端末に登録した APN に割り当てられる登録番号。FOMA 端末では 1 から 10 までの 10 件が使えます。
- DNS (Domain Name System)**
 ドメインネーム (例 : mopera.net) を、コンピュータで使う IP アドレスに変換するシステムのこと。
- OBEX (Object Exchange)**
 データ通信の国際規格の 1 つ。OBEX に対応している携帯電話、パソコン、デジタルカメラ、プリンタなどの中で、データの送受信ができます。
- QoS (Quality of Service)**
 サービスの品質。通信時にユーザの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA 端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。
- W-TCP**
 FOMA ネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IP の伝送能力を最大限に生かすための TCP パラメータ。FOMA 端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。
- 管理者権限**
 Windows XP、2000 を使用するとき、OS のシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1 台のパソコンに最低 1 人は、パソコンの管理者権限を持つユーザが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザは、ドライバやソフトなどのインストール / アンインストールができません。

データ通信の準備の流れ

パソコンと FOMA 端末を接続して、パケット通信および 64K データ通信を利用する場合の準備について説明します。次のような流れになります。



通信設定ファイル(ドライバ)について

FOMA 端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC 設定ソフトについて

添付のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、FOMA 端末とパソコンを接続して、データ通信を行うために必要なさまざまな設定を、簡単な操作で行えます。

動作環境の確認

通信設定ファイルとFOMA PC 設定ソフトは、次の動作環境でご利用ください。

項目	必要環境
パソコン本体 ¹	PC/AT 互換機
OS(各日本語版)	Windows 98、Me、2000、XP
必要メモリ ²	Windows 98、Me : 32MB 以上 Windows 2000 : 64MB 以上 Windows XP : 128MB 以上
ハードディスク容量 ²	5MB 以上の空き容量

1 : USB 接続の場合は、USB ポート (USB 仕様 1.1/2.0 に準拠) が必要です。

2 : 「FOMA PC設定ソフト」に関する動作環境です。パソコンのシステム構成によっては異なることがあります。

動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用による問い合わせおよび動作保証は、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

AT コマンドについて

ATコマンドとは、パソコンでFOMA 端末の各機能を設定するためのコマンド (命令) です。FOMA 端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

ATコマンドの詳細は添付のCD-ROM内の「データ通信マニュアル」をご覧ください。

